学校番号	312

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅰ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新　高校の数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	新　高校の数学Ⅰ対応　ポイントノート　数学Ⅰ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本校では数学Ⅰを2年間に分けて学習します。
・授業では「今回の授業の目的を明示　⇒　課題の確認　⇒　問題解決方法の検討
　⇒　問題演習　⇒　協同学習　⇒　授業内容のまとめ」のサイクルで
　毎回の授業を進め、数学の好きな人，嫌いな人とともにレベルアップを図ります。
・独自の学習教材を用いて行い，毎回授業で使用したプリントを提出してもらいます。
・毎回の学習内容で必要なこともその度に確認をして、全員が取り組める授業構築を心がけます。
・クラス内での教え合える時間を作りますので、全員でがんばりましょう。
・少し難しい内容の教材もプリントに入れていきます。さらに上をめざす人はどんどん問題を
　解いていき、各自の数学のレベルアップをしていきましょう。

2　学習の到達目標

知識及び技能：2次関数、三角比について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
思考力・判断力・表現力等：事象を数学的に考察する能力を培い、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。
学びに向かう力・人間性等：学んだことを数学的に活用する態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	2次関数、三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現、処理したりする技能を身に付けている。	三角比を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したり考えられる力、式とグラフを相互に関連付けて論理的に判断、考察し、それを他者に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価、改善に努めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	二次関数	関数	a:「ある値が決まれば他の値がただ1つに決まる関係」を、関数ということを理解している。 b:身近にある関数を考え、説明できている。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		一次関数のグラフ	a:１次関数を 2 次元直交座標系にグラフとして表すことができている。 b:1次関数のグラフの特徴や性質を考え、説明できている。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		二次関数のグラフ(1)	a:２次関数のグラフを２次元直交座標系に表すことができている。 b:２次関数の特徴や性質を考え、説明できている。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		二次関数のグラフ(2)	a:２次関数を平方完成し、軸と頂点を答え、さらにグラフを描くことができている。 b:空中に投げられた物体の軌道などを参考に、２次関数が身近でどんなところにあるか考え、表現することができている。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート

二学期		二次関数の最大値、最小値	a:２次関数のグラフを描き、その関数の最大値、最小値を求めることができている。 b:上に凸、下に凸のそれぞれの２次関数と最大値、最小値の性質の関係を考え、説明できる。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		グラフと二次方程式	a:２次方程式の解の公式とグラフの関係について分かっている。 b:グラフとｘ軸の関係を考え、分類することができている。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		グラフと二次不等式	a:２次不等式を解くことができている。 b:2次関数のグラフと２次不等式の解の関係を分類し、考察することができている。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
	図形と計量	直角三角形	a:直角三角形の性質を理解している。 b:三平方の定理について、なぜ成り立つのか説明できる。 c:自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		三角比	a:三角比の定義について理解している。 b:　三角比が直角三角形の大きさに関係なく一定であることを説明している。 c:　自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート

		三角比の利用	a:三角比を利用して辺の長さを求めることができる。 b: 自分で判断し、直接測ることのできない長さを求めることができる。 c: 自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		三角比の相互関係	a:三角比の相互関係を理解している。 b:三角比の相互関係がなぜ成り立つのか思考し、説明できる。 c: 自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。	定期考査 復習プリント	定期考査 復習プリント	振り返りシート
		鈍角の三角比	a:三角比の相互関係を理解している。 b:三角比の相互関係がなぜ成り立つのか思考し、説明できる。 c: 自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。			
三学期		正弦定理	a:正弦定理の公式を理解している。 b:正弦定理と外接円の半径の関係を説明できる。 c: 自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。			
		余弦定理	a:余弦定理の公式を理解している。 b:余弦定理と三平方の定理の関係を説明できる。 c: 自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。			
		三角形の面積	a:サインを用いた三角形の面積の公式を理解している。 b:小学校で習う公式と比べて、この公式が成り立つ理由を説明できる。 c: 自分の学びを振り返りシートに記入し、学んだことの考察や改善に努めている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度